

# 真の教育とは

## 鶴岡から日本の教育改革を

⑤

鶴岡を世界的な  
 学術文化都市に  
 私の夢は、鶴岡市を  
 世界的な学術文化都市



中国・インド・韓国な  
 どの新興国に勝てなく  
 なってしまいました。  
 だから「ものすごく良



にすることです。11年  
 前から一貫してそこを  
 目指してやってきまし  
 た。日本が得意として  
 きた「ものづくり」は、  
 コスト競争ではもはや

いものを高く売ると  
 いう知的産業が日本の  
 生き残りの鍵です。知  
 的産業で地方を活性化  
 する、鶴岡にその成功

が集まってくるような  
 魅力ある学術文化都市  
 をつくるのが不可欠  
 です。

鶴岡から巣立ち  
 世界舞台上に活躍  
 鶴岡で学び博士号を  
 取得した学生たちは今  
 NASA(米航空宇宙

日本では、大学や研  
 究機関が首都圏や大都  
 市に集中していますが、  
 これはナンセンスだと  
 思います。中央にいな  
 いと心配だという日本  
 人のメンタリティーを  
 よく表しています。世  
 界的な大学や研究所、  
 人口14万人という鶴  
 岡市は、学術文化都市

思っています。市民と  
 関係者が総力戦で取り  
 組めば、次の世代(30  
 年後)、あるいはその  
 次の世代(60年後)に  
 は必ず世界から注目さ  
 れる学術文化都市にな  
 ると信じています。

とほぎつと可能です。  
 そしてそのことが、未  
 来の鶴岡および庄内、  
 そして山形県にもとて  
 も重要な貢献だと思っ  
 ます。

慶應先端研は百数十  
 人規模の小さな研究所  
 ですが、世界中に光の  
 矢を放ち続ける輝く新  
 星のような存在であり  
 たい。これからも独創  
 的な人材を多数輩出し  
 て、科学立国日本をけん  
 引していきたいです。

(おわり)

提言 富田 勝氏(慶應義塾大学先端生命科学研究所長) 講演から

## 鶴岡で成功例教育変える

例をつくりたい。その  
 ためには独創的な人材  
 の育成と、優秀な人間  
 鶴岡の慶應大先端研を  
 巣立ち、海外で活躍す  
 る人も出始めた。米国  
 のNASAやカナダの  
 トロント大などで働く  
 そんな研究者とテレビ  
 会議システムで討論し  
 たシンポジウム11月  
 鶴岡市の鶴岡メタボロ  
 ームキャンパス

局)やカリフォルニア  
 大学など世界中の大学  
 や研究所で活躍し始め  
 ています。彼らはみな  
 鶴岡に対して愛着と感  
 謝の念を持っていま  
 す。世界各地の学会  
 で「Tsurooka」  
 の宣伝をしてしてくれ  
 ます。そしてその評判  
 が、学術文化都市とし  
 ての鶴岡の国際的価値  
 を高めてくれるでしょ  
 う。

リッジ大学、オクスフ  
 オード大学、そして米  
 国のシリコンバレーも、  
 みんな都会ではなく自  
 然豊かな地方都市にあ  
 ります。シリコンバレー  
 にはアメリカを代表  
 するIT企業がたぎさ  
 んありますが、スタン  
 フォード大学が核とな  
 り、50-60年かけて大  
 きくなっています。私  
 は鶴岡をバイオのシリ  
 コンバレーにしたいと  
 日本教育を変えるこ

として大き過ぎず、小  
 さ過ぎず絶妙なサイズ  
 です。鶴岡が変われば、  
 その影響が日本を変え  
 得るほど、鶴岡は十分  
 に大きい。一方、一つ  
 の研究機関、あるいは  
 一人一人が頑張れば、  
 鶴岡市を変えることが  
 できるほど十分に小さ  
 い。

だから教育でも、鶴  
 岡で成功例をつくり、  
 日本教育を変えるこ  
 とはきつと可能です。  
 本稿は、9月9日  
 に鶴岡市のグラウンド  
 エル・サンで行われ  
 た鶴岡地区産業安全  
 衛生大会の富田勝氏  
 の記念講演「生命科  
 学の現状、研究と実  
 社会とのかかわり」  
 鶴岡での研究内容と  
 その成果について」  
 の論旨に、富田氏本  
 人が加筆したもので  
 す